

平成29年（2017年）9月定例議会本会議（9月28日）

予算決算常任委員長報告（議案）

ただいま議題となっております議案のうち、予算決算常任委員会に付託されました議案第69号、第71号及び第73号の以上3件につきまして、委員会における審査の経過と結果を報告します。

本議案は、8月30日の予算決算常任委員会理事会において、担当する各分科会に送付することを決定し、9月13日及び15日の分科会において、詳細な審査を行いました。

これを受け、委員会は、9月22日会議を開き、各分科会委員長の報告を聴取しました。

次いで、質疑及び総括質疑はなく、討論において、永井真人委員から、議案第69号 平成29年度横須賀市一般会計補正予算（第2号）について、「ご当地ナンバーの導入に向けた市民等の意向調査においては、アンケート数が横須賀市民の2,000件と企業等の3,400件で、合わせて5,400件しかなく、それで市民の意思と言えるのか疑問である。また、スケジュールが非常にタイトであり、どのような聞き方をするのか示されることもなく、審査する機会もなかった。これではスピード感を重んじるあまり、丁寧さを欠いた政策決定であり、議決事項で

はないとはいえ議会軽視と取られても仕方がない。いずれにせよ、市民の合意形成を図ることが重要であり、慎重に進めることを指摘して、議案第69号に賛成する。」旨の意見があり、また、小室卓重委員から議案第69号及び第73号 医療費助成条例中改正について、「小児医療費助成対象の拡大においては、子育て支援の観点からは賛成したいが、安定的な財源が示されていない。本当に安心して子育てできるまちづくりのための大きな施策であると思えばこそ、子育て施策全般の見直しとともに、安定的な財源を示した上で行うべきである。また、ご当地ナンバーの導入に向けた市民等の意向調査においては想定回答率が3割であることや自動車保有者数を鑑みたとき、調査対象である横須賀市民の2,000件をもって市民意見とすることは難しく、その結果で可否を決定することは全体主義とも取れる危険性を感じる。以上の理由から、議案第69号及び第73号に反対する。」旨の意見があり、採決の結果、議案第71号は全会一致で、議案第69号及び第73号の以上2件は賛成多数で、いずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。

以上で報告を終わります。